

“科学としてのウェブ調査”に何が必要か？

ウェブ調査の科学

— 調査計画から分析まで —

A5判 376頁 定価（本体 8,000 円＋税）(12228-2)

訳者一覧

大隅 昇（統計数理研究所 名誉教授）

鳩真紀子（翻訳家）

井田潤治（輿論科学協会）

小野裕亮（SAS Institute Japan 株式会社）

ウェブ調査の科学

The Science of Web Surveys
調査計画から分析まで

大隅 昇 訳
鳩真紀子
井田潤治
小野裕亮

Roger Tourangeau
Frederick G. Conrad
Mick P. Couper

朝倉書店

The Science of Web Surveys

Roger. Tourangeau,

Frederick G. Conrad,

and Mick P. Couper

Oxford University Press, 2013

- 標本抽出、カバレッジ、無回答、双方向性など、総調査誤差に基づくウェブ調査についての本格的学術書。
- 多数の先行研究のメタ分析からウェブ調査の長所と短所を科学的に検証、総合的に解説し、科学的推論を引き出す調査計画のための具体的指針を示す。
- 日本語版では、日本におけるウェブ調査の概況、関連用語集、国内外の関連文献リストなど、研究者・実務家必須の情報を付録として追加。

きりとり線

【お申し込み書】この申し込み書にご記入のうえ、最寄りの書店にご注文下さい。

ウェブ調査の科学

A5判 376頁 定価（本体 8,000 円＋税）(12228-2)

冊

取扱書店

●お名前

公費 / 私費

●ご住所（〒 ）TEL.

朝倉書店

〒162-8707 東京都新宿区新小川町 6-29
(営業部) 電話 03-3260-7631 / FAX 03-3260-0180
<http://www.asakura.co.jp> elgyo@asakura.co.jp

*ISBNは 978-4-254 を省略 / 価格表示は 2019年5月現在

○本書について 大隅 昇（「訳者まえがき」より抜粋）

まさに「ウェブ調査とは何か？」への解答が実に明確に書かれた書である。コンピュータ支援のデータ収集方式の1つであるウェブ調査で、何を調べ、何を知り、いかに科学的に推論するか、また、その長所と短所を具体的に知り、誤用とならないための指針が満載されている。日本国内では未だみられない内容の書であり、大いに刺激を受けるとともに、欧米における研究の質と量に圧倒された。

本書の3名の著者は、いずれも調査方法論研究で多くの成果を挙げてきた著名な研究者である。とくに、ウェブ調査の分野においては、常に先導的な研究を進めてきたことで知られる。このような研究者らが、自分たちの研究成果をはじめ、多数の研究報告を渉猟し、比較・検証することで、“科学としてのウェブ調査”のあるべき姿を包括的に記した書がこの“The Science of Web Surveys”である。そして本書は、全体を通じて科学的な証拠（エビデンス）にもとづく考察を基軸に議論が展開される。

○目次

1. はじめに

- 1.1 総調査誤差にもとづく接近法
- 1.2 本書のロードマップ
- 1.3 本書の目的と範囲

2. ウェブ調査における標本抽出とカバレッジの諸問題

- 2.1 ウェブ調査の種類と確率抽出の利用
- 2.2 ウェブ調査におけるインターネット普及率の問題
- 2.3 カバレッジと標本抽出による偏りの統計的補正
- 2.4 この章のまとめ

3. ウェブ調査における無回答

- 3.1 ウェブ調査における無回答と無回答誤差の定義
- 3.2 ウェブ調査における無回答誤差
- 3.3 ウェブ調査における回答率と参加率
- 3.4 ウェブ調査の参加に影響を与える要因
- 3.5 混合方式の調査における無回答
- 3.6 ウェブ調査の中断に影響する要因
- 3.7 ウェブ調査における項目無回答
- 3.8 この章のまとめ

4. ウェブ調査における測定と設計—概論—

- 4.1 ウェブ調査における測定誤差
- 4.2 ウェブ調査の測定特性
- 4.3 ウェブ調査全体に対して適用される一般的な設計
- 4.4 ウェブ調査のルック・アンド・フィール
- 4.5 ナビゲーションの作法
- 4.6 回答入力形式の選択
- 4.7 グリッド形式あるいはマトリクス形式を用いた質問
- 4.8 この章のまとめ

5. 視覚媒体としてのウェブ

- 5.1 ウェブ調査票における視覚特性の解釈
- 5.2 画像の効果
- 5.3 視認性の概念
- 5.4 この章のまとめ

6. 双方向的特性と測定誤差

- 6.1 双方向性の特徴
- 6.2 応答的で機械的な機能
 - 6.2.1 プロGRESS・インジケータ
 - 6.2.2 自動集計
 - 6.2.3 視覚的アナログ尺度
 - 6.2.4 双方向的なグリッド
 - 6.2.5 オンラインによる説明
- 6.3 人間に近い双方向的特性
- 6.4 この章のまとめ

7. ウェブと他のデータ収集方式における測定誤差

- 7.1 調査方式効果を理解するための概念的枠組み
- 7.2 自記式手法としてのウェブ調査
- 7.3 ウェブ調査と認知的負担
- 7.4 この章のまとめ

8. 要約と結論

- 8.1 ウェブ調査における非観測誤差
- 8.2 観測誤差
- 8.3 調査方式効果を表すモデル
- 8.4 ウェブ調査への提言
- 8.5 ウェブ調査の将来

参考文献

日本語版付録

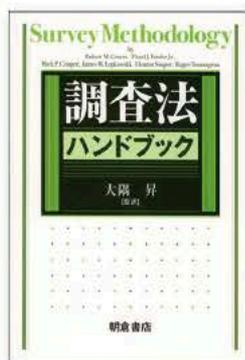
- 補章：日本におけるインターネットによる世論調査、統計調査の現況
用語集
国内文献
海外文献
関連する学会および機関の一覧

索引



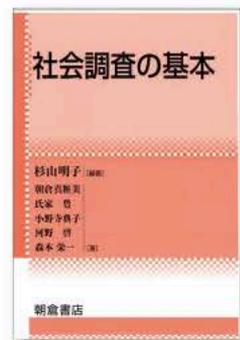
社会調査ハンドブック (新装版)

林知己夫 編
A5判 776頁
定価(本体 17,000円+税)(12225-1)
マーケティング、選挙、世論、インターネット。理論・方法から各種の具体例まで、ニーズの高まる社会調査のすべてを集大成。調査の「現場」に豊富な経験をもつ執筆者陣が、ユーザーに向けて実用的に解説。



調査法ハンドブック

大隅昇 監訳
A5判 532頁
定価(本体 12,000円+税)(12184-1)
Robert M.Groves らの "Survey Methodology" 全訳。社会調査から各種統計調査まで含めたさまざまな調査の方法論を、豊富な先行研究に言及しつつ、総調査誤差パラダイムに基づき丁寧かつ具体的に解説。



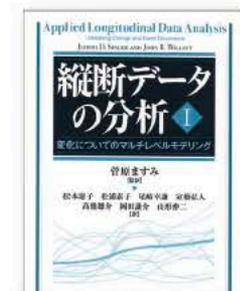
社会調査の基本

杉山明子 編著
A5判 196頁
定価(本体 3,400円+税)(12186-5)
サンプリング調査の基本となる考え方を事例に則して具体的かつわかりやすく解説。[内容]社会調査の概要/サンプリングの基礎理論と実際/調査方式/調査票の設計/調査実施/調査不能とサンプル精度/集計/推定・検定/分析を報告



国際比較データの解析 (シリーズ「行動計量の科学」5)

吉野諒三・林 文・山岡和枝 著
A5判 224頁
定価(本体 3,500円+税)(12825-3)
国際比較調査の実践例を通じ、調査データの信頼性や比較可能性を論じる。実施者だけでなくデータ利用者にも必須のリテラシー。机上の数理を超えて「データの科学」へ。[内容]歴史/方法論/実践(自然観・生命観/健康と心/宗教心)



縦断データの分析 I: 変化についてのマルチレベルモデリング

菅原ますみ 監訳
各 A5判・352頁
各定価(本体 6,500円+税)(12191-9/12192-6)

"Applied Longitudinal Data Analysis: Modeling Change and Event Occurrence." の全訳。変化をとらえるために、同一対象を継続的に調査したデータの分析手法を解説。



Rで学ぶマルチレベルモデル [入門編] 基本モデルの考え方と分析

A5判 212頁
定価(本体 3,400円+税)(12236-7)

[実践編] Mplus による発展的分析

A5判 264頁
定価(本体 4,200円+税)(12237-4)

尾崎幸謙・川端一光・山田剛史 編著
複数のレベルをもつデータの解析に有効な統計手法の基礎的な考え方とモデルを理論・事例の両面から解説。[実践編]では[入門編]で扱った基本モデルから展開し、一般化線形モデルなどに適用。



社会・政策の統計の見方と活用

久保真人 編
A5判 224頁
定価(本体 3,200円+税)(50021-9)
統計データの整理や図表の見方から分析まで、その扱い方を解説。具体事例に基づいて問題発見から対策・解決の考え方まで学ぶ。[内容]データを読む・使う/データから探る/データで証明する/データから考える



やってみよう テキストマイニング

自由回答アンケートの分析に挑戦!
牛澤賢二 著
A5判 180頁
定価(本体 2,700円+税)(12235-0)
アンケート調査の自由回答文を題材に、フリーソフトとExcelを使ってテキストデータの定量分析に挑戦。勘所や流れがわかる入門書。[内容]分析の手順/データの事前編集/形態素解析/抽出語の分析/文書の分析/他